調査書記入上の注意

宮城県立金成支援学校

Ⅰ　記入上の全般的注意

1　令和８年１１月３０日までの事項を記入する。
2　記入数字は、すべて算用数字を用いる。
3　誤記を訂正する場合は、訂正箇所に二重線を引き、記載責任者が訂正印を押して訂正する。
4　※欄は記入しない。
5　用紙はＡ３版片面１枚とする。（コピー用紙可）
6　電子データを希望する場合は、本校のホームページからダウンロードする。
※様式を改変しないこと。

Ⅱ　氏名、現住所等の記入上の注意

1　性別は、該当する一方を○で囲む。
2　現住所は県名から番地まで、略さないで記入する。（「番地」「号」等を記入する。）
3　「卒業見込み・卒業」については、該当する一方を○で囲む。

Ⅲ　各欄記入上の注意

1　「障害の区分」の欄について
・　知的障害以外の障害がある場合は、「視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱」の中から 記入する。
・　病名は、障害にかかわる病名を医学的・専門的診断に基づいて記入する。
・　所属学級の種別（知的障害学級、自閉症・情緒障害学級等）を記入する。特別支援学校の生徒については斜線を引く。

2　「学習の様子」の欄について
・　「基本的生活習慣」の欄には、身辺処理（衣服の着脱、食事、排せつ）等について記入する。
・　「運動能力」の欄には、移動能力、体力、敏捷性等について記入する。
・　「手指機能」の欄には、手・指の粗大運動、微細運動、巧緻性等について記入する。
・　「言語理解」の欄には、指示理解、会話の成立等について記入する。
・　「数量処理」の欄には、数量に関する興味・関心、加減乗除の計算能力等について記入する。また、金銭の扱いについて、時計の見方についても記入する。
・　「社会性」の欄には、対人関係、集団参加、自己統制、社会参加等について記入する。また、公共交通機関の利用の仕方についても記入する。

3　「特別活動等の記録」の欄について
・　学級活動、生徒会活動、部活動、学校行事等での活動の様子を具体的に記入する。

4　「行動性格の特徴」の欄について
・　学習場面、日常生活における行動及び性格面から見た生徒の特徴、指導上の配慮すべき点等について具体的に記入する。

5　「健康の記録」の欄について
・　学校保健安全法施行規則による検査に基づいて記入する。ただし、過年度卒業者については出願時より３か月以内に、国・公立病院等で検査した資料を添付する。
・　「視力」の欄には、裸眼での結果を記入し、眼鏡使用の場合は、（　）に記入する。
・　「疾病等」の欄には、疾病名等を記入する。
・　「身体上の特記事項」の欄には、生徒の体質、アレルギーの有無やその状況、身体上の障害等参考となる事項を記入する。
・　「聴力」「疾病等」及び「身体上の特記事項」に記入すべきことがない場合は、斜線を引く。

6　「諸検査の記録」の欄について
・　令和６年４月１日以降に実施した知能検査について検査名、実施日、実施機関、結果を記入する。但し、知能検査の結果がない場合には、令和６年４月１日以降に実施した社会生活能力検査等の質問紙法による検査でもよい。

7　「出欠の記録」の欄について
・　「備考」の欄には、欠席の主な理由、その他を記入する。

8　「その他の特記事項」の欄について
・　該当する事項があれば記入する。